

平成25年度学術情報ウェブサービス担当者研修
2013.9.25 (NII会場)

学術ポータル担当者研修 2012を振り返って

尾城友視

一橋大学学術・図書部
学術サービス課コンテンツ係

目次

-
- 自己紹介
 - 昨年度の振り返り
 - 受講生のみなさんへ
-

一橋大学

平成25年度学術情報ウェブサービス担当者研修



- 1875年創立
- 社会科学系
研究総合大学



附属図書館



- 中央図書館制度
- 図書 約194万冊
- 雑誌 約16,800タイトル

附属図書館



常勤職員 25名 非常勤職員 15名

→小学校の1クラスくらい？

私

- 学術サービス課コンテンツ係
- 2011年8月採用

機関

リポジトリ

デジタル

アーカイブ

大学

ウェブサイト

図書館

ウェブサイト

Twitter

Facebook

受講の動機

問題意識...

- ① ウェブサービスをより利用者のニーズに応えるものへと改善したい
- ② リポジトリ、図書館業務システム、ウェブサイト等の大規模な改修に積極的に携わりたい

受講の動機

そのために...

- ✓ ウェブ技術の基礎知識・最新動向の理解
- ✓ 課題の分析力や企画力の修得

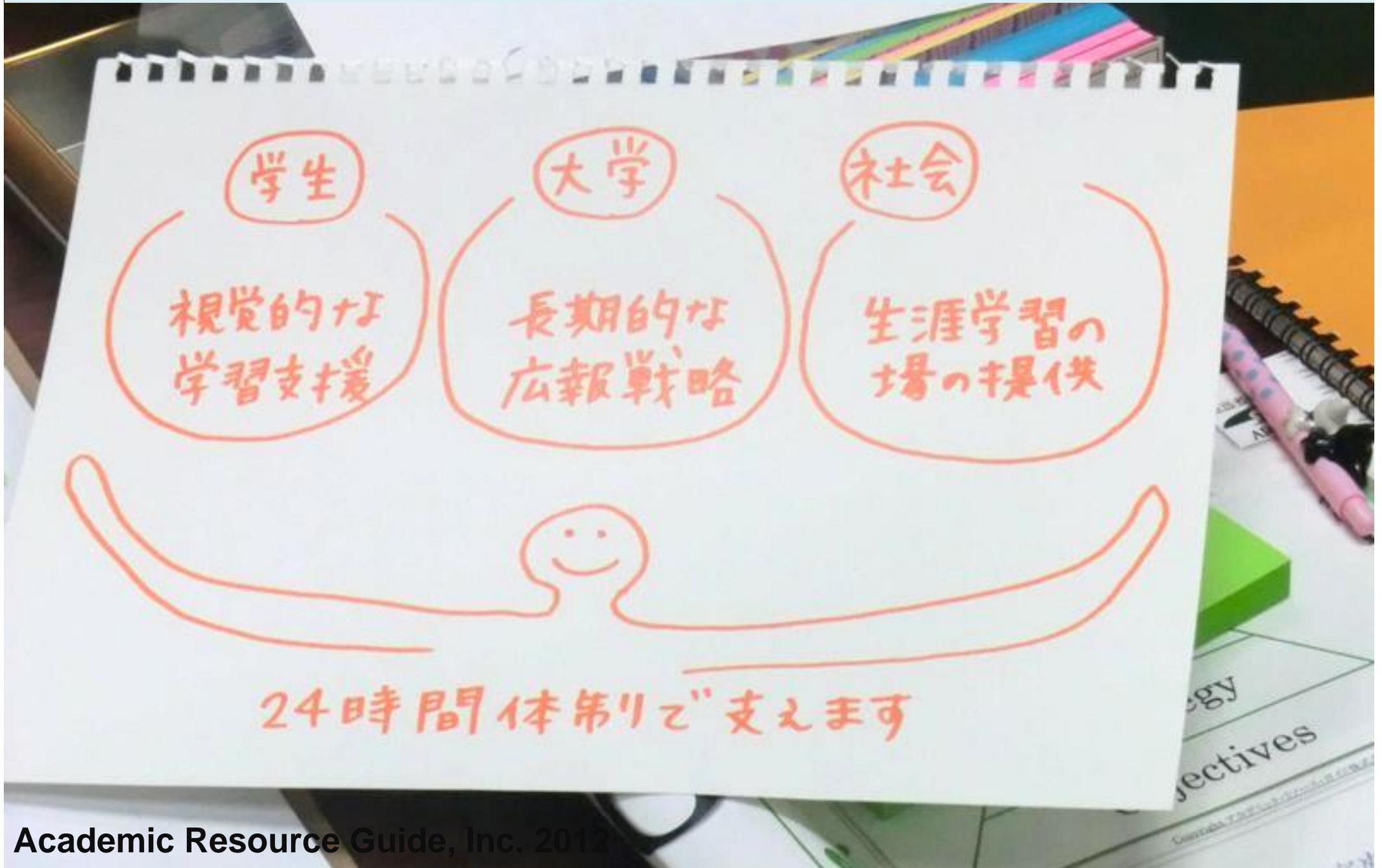
グループワーク

課題：オープンコースウェア

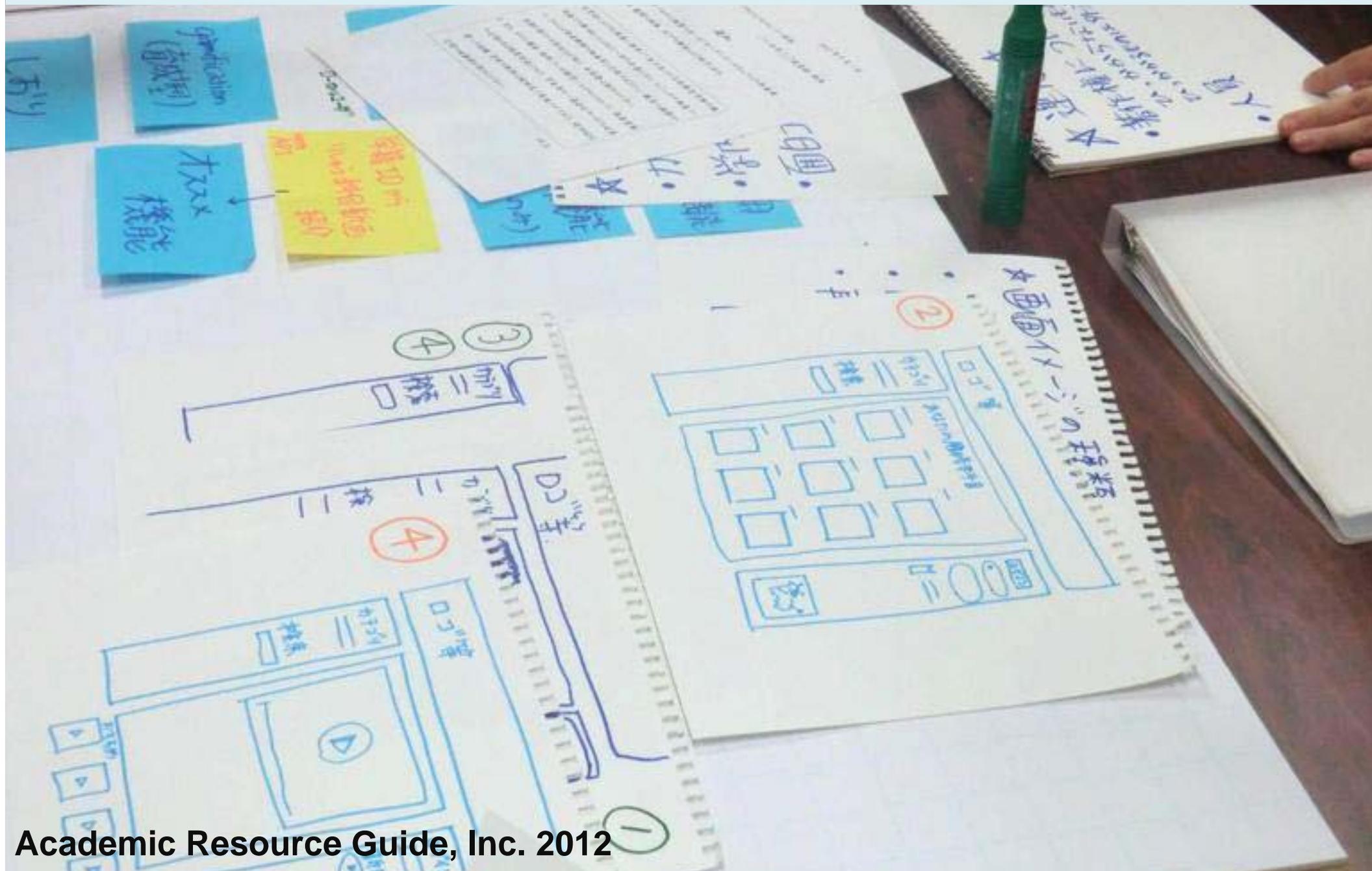
V **M** **S** **O**
VISION **MISSION** **STRATEGY** **OBJECTIVES**

企画 → サービスの設計

作業風景



作業風景



作業風景

24hサービス

mission

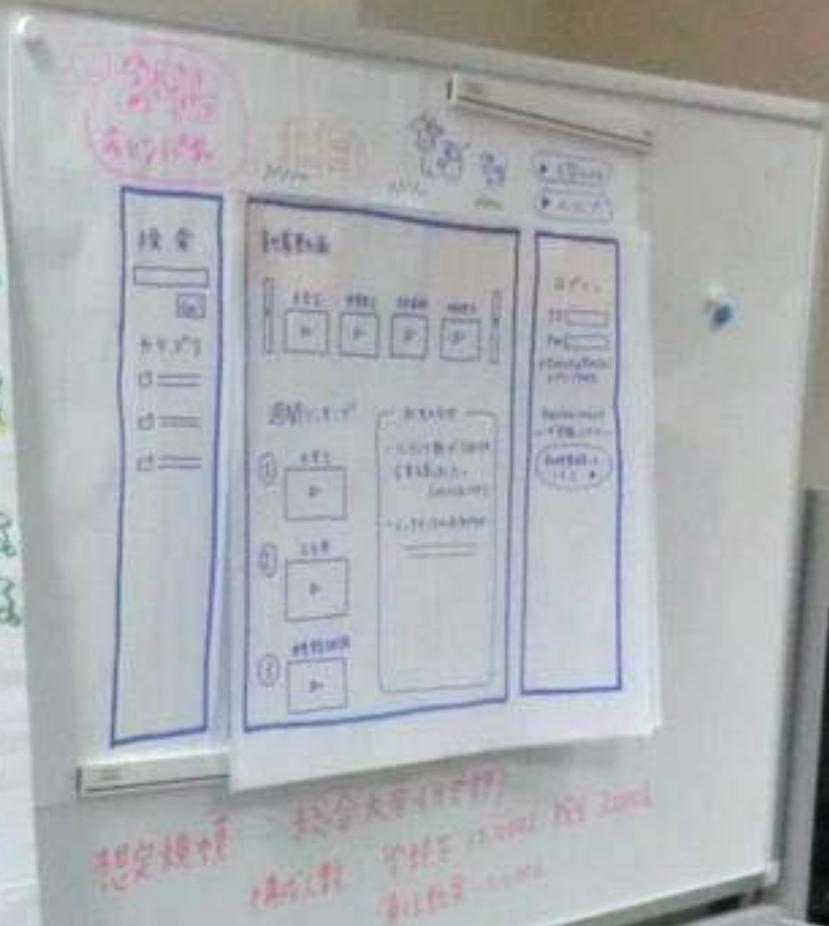
学生がいつでもどこでも動画による学習支援を受けられるとともに、一般の社会人受験生も大学発信の「知」を広く共有活用おこなうこと。これを、これが大学のPRツールとして位置づけられる。

Strategy

- 学内IDによる「リテイク」
- マイID機能による「リテイク」
- 明様なコンテンツ

Objectives

- コンテンツ数(全科目)
- アクセス数(月 10,000)
- 匿名(9割)のアクセス比 1:1



印象に残っていること

体力

情熱

データ

ウェブ

UI

印象に残っていること

なりきる

ブレない

書く！描く！核！

研修を経て...

成果：ガイダンス用Twitterアカウントを開設！

V

- 学生に図書館の使い方を知ってほしい！

M

- 図書館ガイダンスに学生を集める！

S

- 学生が参加しやすいタイミングでの開催
- **学生に確実に届く広報**

O

- ...（おやおや？）

研修を経て...

▶ 変わったこと

- 描いてみるようになった
- システムのことがなんとなく身近になった
- 「それを図書館でやる意味は？」
「図書館が求められていることは？」
と、考えるようになった

**ここからは
ファシリテーター全員からの
メッセージです**

**この研修を
一言で表すなら...**

青春

チャレンジ

トリガー

脱皮系

チェンジ

汗

ドア

変革

**研修後の変化や
できたこと**

気持ちの変化

- 当事者意識が芽生えた
 - だれか偉い人が考えてる→自分も貢献したい
- 図書館人の誇りと熱い思いを目の当たりにした
- 「そもそも大学図書館（あるいは学術情報基盤）とは？」と考えるようになった

業務での変化

- ウェブ関連の仕事に主体的に関われるようになった
- ソーシャルメディアの活用を意識するようになった
- 情報共有の意識が高まった
 - 描いて確認、発言して確認
- 目の前の仕事のその先を意識するようになった

できなかったこと

- 研修で学んだことや熱い思いを周囲の人と共有するのは難しい...



行動で示す、巻き込んでいくしかない！

気合いの一言！

ぶち破れ！

とにかく全力投球

研修の恥はかき捨て

倍返しだッ！！

前のめり推奨。

勝負はこれから…

**これから3日間、
熱い研修にしましょう！**

